

KOCHI ROTARY CLUB

2020
2021

SINCE 1937



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度 RIテーマ

週報



Weekly report 第3448回 2020年12月8日 2021年2月2日発行

● 会長挨拶



皆さんこんにちは。まず、本日は濱田高知県知事さん、公務大変ご多忙のところ、私ども高知RCの例会にご臨席を賜りまして厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

知事さんは、昨年(2020)の12月9日に、県庁の方に初登庁され、今日が1年目の最終日ということでございます。この記念すべき日に当クラブにお越しをいただきましたことを大変光栄に存じております。

さて、皆さまご存知の通りコロナ禍は、我が高知県にも押し寄せてまいりました。この5日間10名以上の感染者が報告をされておりますし、私もどこかちょっとよその話かなあと思っておりましたら、比較的近所にお住まいの方、あるいは知り合いの会社の社員やそのご家族が感染をしたりとか、ああ結構迫って来てるんだなあということを感じました。ロータリアンの皆さま方におかれましては、くれぐれもご注意をいただくことと、職場等で、感染防止対策の徹底をお願い申し上げます。

ただ、もうロシアではワクチンの接種が始まったようですし、英国でも今日から接種が始まるようです。昨年12月に、中国の武漢で新しいウイルスが発見されて、1年以内の状態でワクチン接種というところまでまいりました。今回は、世界の研究者たちが競争するだけではなくて協力もし合って、ここまでこぎ着けたということです。多少見切り発車のところがあるかもしれませんが、この効力と副反応等の障害がないことが証明されて、早く世界にいきわたってこの問題を乗り切れるように願っております。NHKの特集番組の中で「人間は感染症なんかには負けない」という言葉が非常

に印象に残りました。

一方で、嬉しいニュースもありました。はやぶさ2のカプセルが、無事に地球に帰還してまいりました。なにせ6年、52億4,000万キロの旅路を経て帰ってきたということで大変なことでございます。そして、持ち帰った小惑星リュウグウの砂を分析して46億年前の地球や太陽系のできたころのことについて研究するというので、そのスケールと時間軸の長さには驚くべきことでございます。津田プロジェクトマネージャーの「今回の成功を言葉で表すと100点満点で1万点だった」という表現がありましたが、まさに今回のプロジェクトの困難さと、それを達成した喜びが伝わってまいりました。

既に、昨日FAXでご案内申し上げましたが、極めて急激な状況の変化により、我がクラブの運営も修正させていただきました。

今回は食事抜きの時間短縮例会、15日と22日は当面休会。22日は当初の予定ではご家族を含んだ忘年夜間例会でしたが、これがお昼の会に代わり、さらには結局はキャンセルということになり、皆さまにご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。特に準備を進めていただいた武樋委員長はじめ親睦委員会の皆さま方には心よりお詫び申し上げます。一日も早くこの問題が収束し、来年皆さままで集まり合えることを心から祈っております。

最後に、ひょっとすると今年皆さま方とお目にかかるのは、今日が最後になるかも知れませんがご挨拶を申し上げます。この7月以来、皆さま方には大変お世話になり、激励もいただきありがとうございました。来年も頑張りますのでどうかよろしくお願い申し上げます。皆さまもどうぞよいお年をお迎えくださいませ。ありがとうございました。

■本日のプログラム [2月2日]

時間短縮例会
会員スピーチ

会 長	中 村 裕 司
副 会 長	入 交 章 二
幹 事	関 雅 文
副 幹 事	中 澤 清 一
会報責任者	隅 田 和 稔

● ローターソング「我らの生業」

● ゲストスピーチ



共感と前進 ～高知県の挑戦～

高知県知事 濱田 省司 氏



ご紹介いただきました高知県知事の濱田でございます。本日はこういう機会をいただきましてありがとうございます。ありがとうございました。

実は春先にも一度日程をお約束しておったんですが、ちょうどコロナの問題もありまして残念ながら見送りということになっておりました。ちよ

うど私、就任1周年の節目の時期でございますが、またコロナ感染拡大の渦中にたまたまなっていました。今日はその辺の状況のお話と、産業振興計画を尾崎前知事から引き継いで1年ということですが、その辺りの状況について限られた時間ではございますが、ご紹介をできればと思っております。

まず話に入る前に、本日の会合自体はキャンセルしないで、でも会食のリスクも考えて、お弁当の配布という形にさせていただくと伺っております。これは私がつねづねお願いしております感染の拡大防止と、あと社会経済活動との両立をしていくという意味ではいろいろ考えて、こういう手当てをとっていただいたと。本当にお手本になるような取り組みをしていただいているというふうに思います。その点は厚く御礼をまず申し上げたいと思います。

それでは、まずコロナウイルスの状況について、このタイミングでこういうお話をすることになるとはちょっと想定外でしたが、最新の状況を資料をご覧くださいながらお聞きいただければと思います。

毎日公表させていただいています県内の感染者数の状況をグラフで表しています。大きくいって、やはり三つの波が立っています。4月頃が全国の第1波に対応した県内の状況。お盆のころ、全国的にも第2波という状況で、県内でも1日14人の方の感染確認がされ、高知市内の障害者施設でクラスターが発生したということがありました。この後しばらく、本県の状況は比較的落ち着いておりましたが、11月の後半から少しずつ感染者が出るようになり、先週の水曜日辺りから、8人、15人、16人、19人という、毎日過去最多を更新をするような勢いで、その後も18、13、週末は減っていますが、今日もやはり2桁、十数人の感染確認をご報告することになりそうです。ということで、今、感染拡大の真只中にあるという状況にあるわけです。

もう一つ、この1年、コロナ対応を振り返りますと、今の大阪なんかの状況でもそうですが、医療の提供体制に対

する負荷というのが、一番注目すべきポイントになっています。高知県も春先の4月半ばぐらいには44人の方の入院という一種のピークがありました。その当時は、まだ県内の医療機関で入院していただくベッド数が十分準備できておりませんで、一時期ちょっとこの数字をオーバーしたりして、高知医療センターではご親族は相部屋で入ってもらうというようなことで急場をしのぎました。その後は高知医療センターに隣接する「やまもも」という宿泊療養施設、ここは、もともとご家族がお見舞いに来るときのための施設だったのですが、そこを転用させていただいて何とか急場をしのいだということになります。

第2波、8月のお盆のころは春先に比べると入院患者のピークは20人ぐらいで、200近いベッドも確保できていたから、比較的余裕がある中で終わったわけですが、第3波のここ1週間は毎日十数人というペースで感染者が判明しています。都会の方は、一部で高齢者とか持病のある人だけが入院し、ほかの方は自宅療養という割り切った対応をとっている所も多いわけですが、高知県は、まだ収容能力もありますので、基本的には皆さんに一旦は入院していただくという対応をとっています。

ただ、直近の数字で88人、このペースで日に十数人づつ積み上がっていくことになると、準備している200ベッドも近々突破してしまいかねないという状況であります。そこで、先ほど申しました高知医療センターに隣接する「やまもも」などの宿泊療養を、県内のホテルとか宿泊施設でご協力いただけたところとして、夏の間具体的なお話をさせていただいて、入院までする必要のない方は宿泊施設に移っていただくというような態勢を強化しようということ今準備中であります。

ただ、いい材料としては第1波、第2波と比べると、そもそも70、80、90代の高齢の方の数があまり多くないということと大いに関係があると思いますが、今のところ、いわゆる重症の方というのは報告を受けておりません。もちろん入院患者が来られると病院に負荷はかかるわけですが、重症の方が入って来るほどの負荷はかかってないということが幸いで、何とか高齢者の方、あるいは持病をお持ちでリスクが高い方が重症化する前の時点で、感染拡大を食い止めたいと、いろんな手を今考えている最中でありませ

次に、10月の第2波が終わったころ、国の方の専門家の分科会が全国的な対応の大きな指針を出されましたので、それを参考に県としてこういう対応をとっていくという目安をまとめたものです。

まず、5段階に分けて、一番普段に近いのが感染観察、



イメージカラーは緑色。だんだん警戒度が上がって注意のオレンジ。さらに上の2段階になりますと特別警戒。これは1週間の感染人数が105人以上。それから非常事態175人、人口10万人当たりで25人以上となると、国の方もほぼ爆発的な感染といえるという、この5段階です。高知県は今のところ警戒オレンジの中ではありますが、限りなく特別警戒に近い領域、ほぼ手が届く瀬戸際ぐらいにきています。最大確保病床占有率20%以上が特別警戒ということですが、今4割近いベッドが埋まっていますので、ここで見ると特別警戒レベルになっているということです。

では、行政としてどういう対応を県民の皆さまにお願いしているかということが問題になるわけですが、特別警戒とか非常事態ということになりますと、春先のような外出自粛の要請、あるいは一定の業種の方にお店を閉めていただく、営業時間短縮をお願いする、こういったことも最終的には検討しなければいけないことになるわけです。私自身はできるだけ経済活動、あるいは社会活動の制約、負荷をかけるような対応は避けたいというのが本意ですが、今は感染が非常に拡大をして特別警戒エリアに近づきつつあるという段階で次なる一手をどういう形でやるか、今、県庁の中で詰めをしている段階でございます。ただ、先ほども申し上げましたが、高知県の場合、重症者の方がそんなに多くないというところで、大阪や北海道、東京あたりの状況にはまだ至っていないということは、申し添えておきたいと思えます。

こうした形で、高知県も少し遅ればせながら全国の第3波に飲まれつつある、飲まれている状況だと思えますが、ある意味、こういうことも想定はされましたので、民間の検査会社の力も借りて検査体制の充実を図っていかうということで、8月から9月にかけて県内の医療機関にご協力いただき、身近なかかりつけ医で検査協力医療機関として、唾液などでPCR検査ができる態勢を整えてまいりました。その結果、今、県内で181の医療機関にご協力をいただいて、割合身近な医療機関でも検査ができる状況になっていると思えます。

民間医療機関の皆さまには、最初のちょっと熱がでた、体調がおかしい、まず診てもらいたい、検査してもらいたいという方を受けていただく。そして、県の衛生環境研究所の方では、そこで出た感染確認者の濃厚接触者の方々を集中的に検査をして、感染拡大を事前に食い止めるという役割分担をしています。このところは急に衛生環境研究所の検査数が伸びていますが、割合平穏なときには、身近な医療機関の検査数をはるかに多い。通常であればこういう体制でいけばいいなということかと思えます。

次に、コロナ関連の経済面での影響対策であります。この1年間、ほとんどこればかりやってたという感じですが、2月の議会では全国に先駆ける形で中小企業の方々への実質無利子・無保証料の融資を県独自で地元の金融機関とタイアップをして実施。5月の補正予算では高

知県観光リカバリーキャンペーンとして、国のGoToキャンペーンに呼応して交通費用を1組5,000円上限で助成をして、遠くからも高知へ来ていただきましょうということもいたしました。

さらに、地産地消のキャンペーンなんかもいろんな予算を使って行うとともに、9月補正予算ではもう少し先をにらんで、ウィズコロナ・アフターコロナの時代の社会の構造変化に対応をした新しい業種、仕事の展開というところも応援をしていくというような予算も計上させていただいているところでもあります。

9月補正予算でのポイントを4点だけご説明しますと、一つはデジタル化の推進。ウィズコロナ・アフターコロナの時代は非接触とか非対面での経済活動、社会活動の比重が上がっていくということで、デジタル化をあらゆる分野で進めていこうと、県内の中小企業の皆さんのデジタル化を進めるためのモデル事業を展開したり、学校も1人1台タブレットの時代になりますので、それを活用していく予算も組んでいるところでございます。

ポイント2は、地方への新しい人の流れの創出。コロナの経験則として、大都会というのは意外と感染症にもろいということがあり、より自然豊かで密でない地方に人の流れが起きていく、それを後押しをして高知に呼び込もうということです。県内のいわゆるシェアオフィスの整備や移住促進のためにイベントの実施、受け入れ態勢として移住者向けの住宅の整備、こういったことを進めることにしております。

3点目が、コロナ後、ウィズコロナの時代の新しい生活様式に対応するために、各企業、いろんな事業所の方々でもたくさんの設備投資が必要であると、これを応援していこうということです。食品加工事業者、農林水産事業者、宿泊施設の方々、コロナ対応の設備等も含めて、いろんな設備投資を応援していこうということです。

ポイント4、観光の関係では、屋外の観光施設の新たな展開をしていくための施設のリニューアルなんかも応援をしていこうというもので、予算を組んで、お化粧品直的なものも含めて県内の施設、次なる観光の展開に向けての準備もいただいているところでございます。

以上がコロナ関係の対応ということです。残りの時間、産業振興計画関係を2点だけご紹介したいと思います。

昨年からの第4期高知県産業振興計画、尾崎県政を引き継いで進めているわけですが、最大のポイントは、デジタル技術と地場産業の融合。これは、コロナ前から申し上げていたところにちょうどコロナの時代がきたということで、デジタル技術と高知の地場産業を融合させることで、より高知の地場産業の強みを生かしていくという取り組みをやりたいということでもあります。

その代表選手の1番が生産性日本一の施設園芸農業、ハウス園芸農業のデジタル化をさらに進めていくことで、より優位性を高めていきたい。

Next次世代型の開発プロジェクトの推進により、ハウスの中の温度とか湿度、CO²濃度といったものを制御して、例えばナスとかキュウリなどの収量を上げていく技術をより高度にしていくために、県内のいろんなハウスをインターネットで結んで、データを蓄積して、どういう条件のもとでやると生産性が上がるのかということを各ハウス農家の方々に情報を還元して、生産性をさらに上げていこうというプロジェクトを今、産学官連携で進めています。

2番目の水産業については高知マリンイノベーションと称して、このメジカの漁場予測とか、自動計量システム導入といったことも含めて、できるだけ省力化をして漁獲高を上げていくようなシステムを水産業でもやっていきたい。

さらに3番目は、いわゆる人口減少や高齢化といったさまざまな社会の問題をオープンイノベーションプラットフォームの場の活用によって、産学官が揃って解決を図って、それで産業化をしていくというような取り組みを進めているところであります。

それからもう1点、これは、私自身大阪での勤務経験もあったということで、選挙のときもセールスポイントにしていた関西との連携戦略。はっきりいってインバウンドを増やしていくには、少し時間がかかると思いますが、関西との経済連携によって関西の経済活力を高知に呼び込んでくる。これはぜひ私自身、重点施策としてやりたいと思っています。

今年度はそのための戦略づくりをしようとして関西の経済界の方、行政関係者、関連企業の方、高知県に縁のある方、私自身の知り合いの方々にもお願いをしましてアドバイ

ザー会議を10人弱で発足、戦略づくりを進めています。先般、骨格をお示ししましたが、大きな柱の1本目が観光の推進。当面は国内観光を視野におきますが、2025年には万博も開かれますので、このときに関西を訪れる外国人の方々に高知にもきていただくことを目指してしっかりと準備をしていきたいと思っています。

2番目が食品などの外商拡大プロジェクト。関西の量販店などに高知産の野菜、肉、魚、そして食品をもっと置いていただけるようなことを今仕掛けようとしております。

そして3番目が万博・IRの連携プロジェクト。2025年の万博にはぜひ高知県産の木材を使ったパビリオンなんかが、あちこちに建つようにということを目指して、今これもその働きかけを始めてるところでございます。

時間の関係もありまして、端折った説明になって恐縮ですけれども、当面は、やはり今進行中のコロナの第3波の拡大を何とか食い止めて、収束に向かっていくということが一番だと思いますけれども、そこから先、アフターコロナ・ウイズコロナの時代をにらみながらデジタル化ですとか、新たな地方への人の流れ等々、コロナの中で今、高知県経済ピンチにはありますけれども、これを逆にチャンスに転じて、高知県の経済を再び成長の軌道に乗せていくこと、そのことが私の使命と考えております。

皆さま方には、またいろんな形でお力添えをお願いすることになるかと思いますが、どうか引き続き、応援をいただくことをよろしく願いいたしまして、私の話とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

● 幹事報告

- ・ 来週12月15日と再来週22日は休会。来年は1月5日を予定しておりますが、状況によりFAXでご連絡いたします。
- ・ 来年2月27日ザ・クラウンパレス新阪急高知で開催予定のIMについて、1月14日までに出欠の返事をお願いします。
- ・ R I 国際大会が来年の6月12日から15日、台北で行われます。コロナのリスクを考え、高知RCとして参加者を募っての登録はしないことに理事会で決定しました。参加希望者は個人で登録をお願いします。





ニコニコ箱

- 会長・中村裕司 } 濱田知事、本日はご多忙のところ、私ども高知RCにお越しくださり、誠にありがとうございます。コロナ
幹事・関 雅文 } 禍が速やかに収束し、県勢が浮揚できますよう、ご尽力とご指導をお願い申し上げます。
- 上野 里美 主人の誕生日をお祝いしていただきありがとうございます。コロナの影響で今年最後の例会となりました。会員の皆さまには、今年お世話になりました。2021年もよろしくお祈りします。よいお年をお迎えください。
- 小林 達司 第91回都市対抗野球では、皆さまからたくさんの応援をいただき、誠にありがとうございました。おかげ様で、当行初となるベスト8という結果を残すことができました。ニコニコ！
- 入交 章二 四国銀行野球部の都市対抗大会、記念すべき初のベスト8入り、心からおめでとうございませう。野球部長は小林達司さん。何だか「持つてる」感じですね。ワクワクドキドキおかげ様で良き興奮と元気をいただきました。ありがとうございます。そして、急遽、今日が今年の例会納めになりました。皆さん、良いお年を。
- 杉本芙美子 会員の皆さま、今年はコロナに始まりコロナに暮れる1年でした。1年間お世話になりました。来年もよろしくお祈りいたします。例年のように皆さまへの年賀状は失礼して、ハガキ代を燦燦基金への寄付とさせていただきます。
- 山崎広一郎 はやぶさ2のカプセルが地球に帰還し、無事にJaxaに到着することになり嬉しい限りです。先日、Jaxaから会社宛連絡があり、あまたある機械メーカーの中から選ばれ、昨年納入した山崎技研製のNC工作機械でカプセル開封のための加工を行い、その後は別の施設で展示することになるとのことだそうです。この開封加工のためだけに用いるとはもったいない話ではありますが、名誉なことだと思ひ、ここにお知らせする次第です。なお、この件に関して、Jaxaからは、メディアに広報してもらっても何ら問題はありませんとのことです。お知らせをさせていただきました。



1月のお祝い

(会員誕生日)	竹下 篤範	細田 長司	西山 彰一	松村 豊
	井上 良介	岡 亮助	各会員	
(配偶者誕生日)	中田 心一	高野 賀枝	武樋美由紀	西山 益 各会員配偶者
(結婚記念日)	尾木 謙三	中林 圭	各会員	



2月のお祝い

(会員誕生日)	出口 学	高村 禎二	関 裕司	安藤 一臣	田岡 弘久	各会員
(配偶者誕生日)	関 敬子	森本美奈子	久松 智津			
	杉本 延一	紫藤 禎子	広末 多江	各会員配偶者		
(結婚記念日)	佐竹 新市	隅田 和稔	小笠原晃男	笠井 勇治	出口 学	
	山崎広一郎	横田 英毅	安光 保二	末松 史朗	西山 彰一	各会員

◇ 例 会 変 更 ◇

高知中央RC	2月 4日	創立記念夜間例会(城)	高知北RC	2月 8日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	2月 9日	夜間例会(旭)	高知東RC	2月10日	観梅夜間例会(阪)
高知南RC	2月18日	例会変更(阪)	高知西RC	2月19日	夜間例会(三)
高知北RC	2月22日→2/20に振替(三)		高知南RC	2月25日	ロータリー休日(阪)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

◎ 33会 例会を開催いたしました



12月13日第372回33会が12月なのに暖かい土佐CCで開催されました



優勝はベスグロ・ニアピンと大活躍の君波会員が見事優勝されました。



ドラコンは最近メキメキと腕と飛距離を上げてきた荒井会員が先月に続いての受賞です



メキメキと言えば上野会員のパワーも凄かったです。流石元国体選手



足腰の強化と怪我の防止に関裕司バスタガバナーの秘伝のスクワット！みんな一緒にヨイショヨイショこれはキクー

◇ 出 席 率 ◇

	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
12月 8日	(-11)89	58	14	6	82%
11月24日	(-9)89	54	11	15	86%

● 累計額 [12月8日現在]

ニコニコ箱	442,000 円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	104,460 円	ポリオ募金	127,400 円
-------	-----------	--------------------------------	-----------	-------	-----------

■ 次週のプログラム [2月9日]

時間短縮例会
 ゲストスピーチ
 アニマルサポート 高知家
 理事長 吉本 由美氏
 「助けてワンニャン 犬猫の問題は人間の問題」

創 立 昭和12年10月
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階
 TEL(824)8660 FAX(824)2529
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
 HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/